

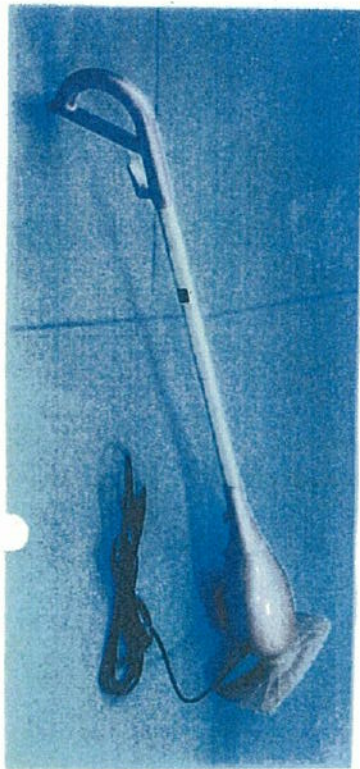
別 紙

被告製品目録

- |   |     |             |
|---|-----|-------------|
| 1 | 品 番 | MOP8186     |
|   | 概 要 | 蒸気（スチーム）モップ |
|   | 構 成 | 2頁掲載の写真のとおり |
| 2 | 品 番 | SMD003      |
|   | 概 要 | 蒸気（スチーム）モップ |
|   | 構 成 | 3頁掲載の写真のとおり |

以 上

【斜视图】



【正面图】



【背面图】



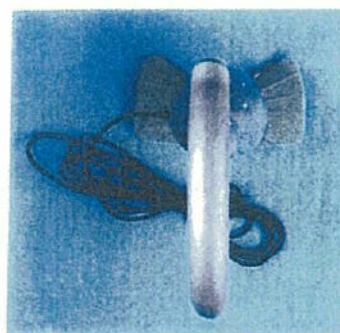
【左侧面图】



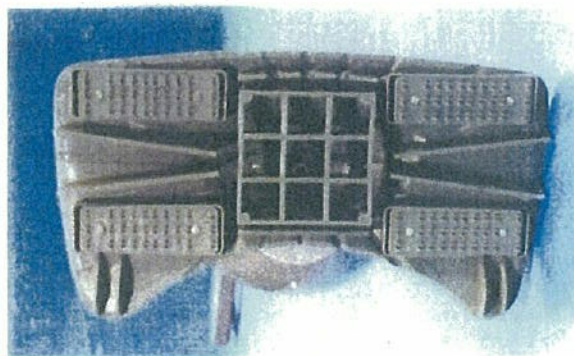
【右侧面图】



【平面图】



【底面图】





【斜视图】



【正面图】



【背面图】



【左侧面图】



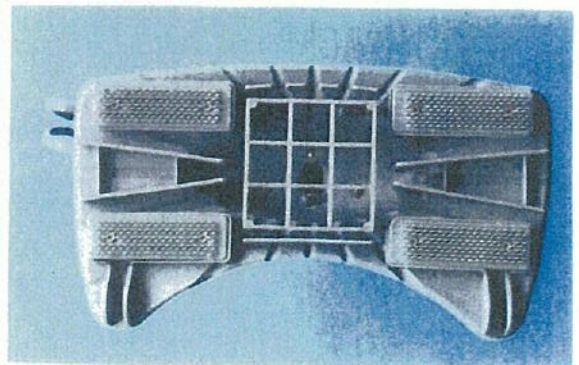
【右侧面图】



【平面图】



【底面图】



別紙

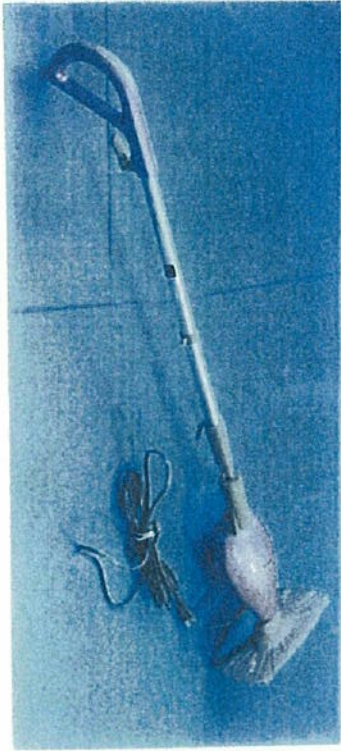
原告製品目録

品番	S 3 1 0 1 J
概要	蒸気（スチーム）モップ
構成	5頁掲載の写真のとおり

以上



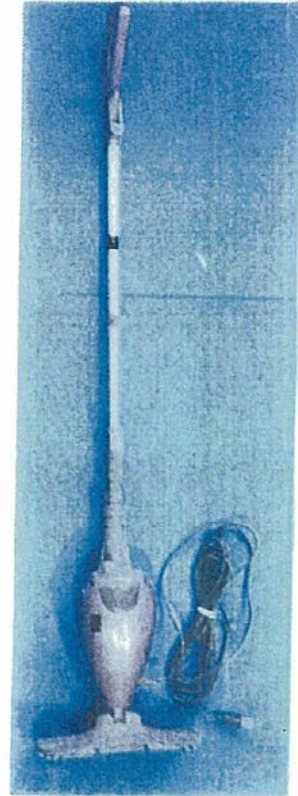
【斜視図】



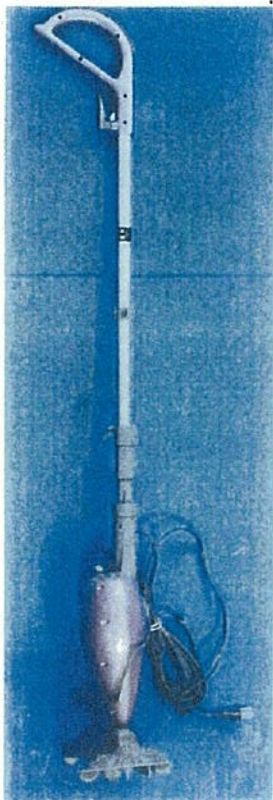
【正面図】



【背面図】



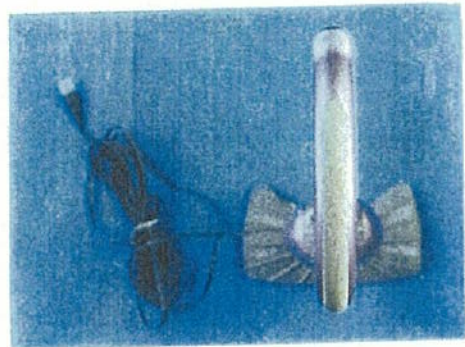
【左側面図】



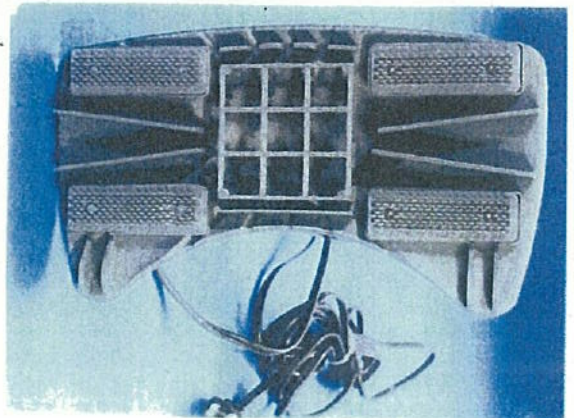
【右側面図】



【平面図】



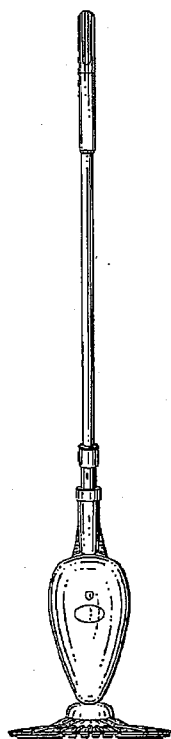
【底面図】



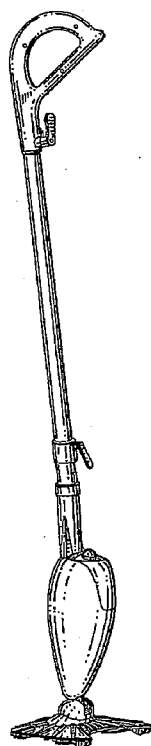
別紙

意匠図面

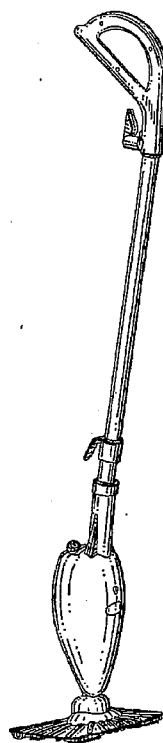
【正面図】



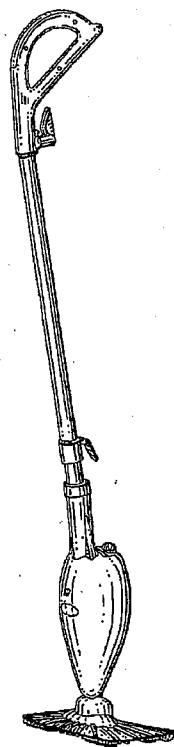
【背面図】



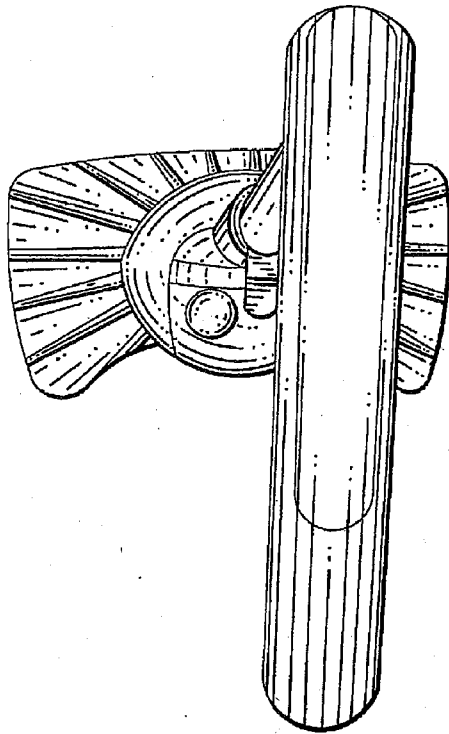
【左側面図】



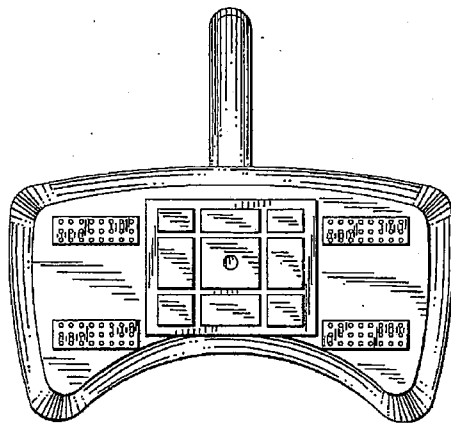
【右側面図】



【平面図】



【底面図】





本件意匠及び被告製品の意匠の構成

【本件意匠】

原告らの主張		被告の認否及び主張	
基本的構成態様			
	本件意匠は、ハンドルと、ポールと、本体部と、モップヘッドとから成る。	本件意匠は、持ち手部分と、ポール部分と、ポール部分と本体部分の接続用の連結部分(以下「連結部分」という。)と、本体部分と、モップヘッド部分とから成る。	おおむね認める。
1	ハンドルは、ポールの上端に形成された半円形のものである。		おおむね認める。
2	ポールは、棒状であり、その下端部は本体部に連結されている。	ポール部分は、1本の棒状で、上端で持ち手部分と、下端で連結部分と、それぞれ結合している。	
3	本体部はラッキョウ形であり、その下端部はモップヘッドに連結されている。		おおむね認める。
4	モップヘッドは、上面中央部に本体部との接続部である隆起部を備え、横長の板状体である。		おおむね認める。
具体的構成態様			
【ハンドル】			
1	ハンドルは、下方の直線状の基部と、その上方のハンドル本体とから成る。		おおむね認める。
2	ハンドル本体は、基部に対して約45度の角度で斜め上方に延びる直線状部と、この直線状部の上方に形成された略半円状の握り部とから成る。		
3	ハンドル本体の裏側位置の直線状基部には、先端を上方に屈曲させたL型のコードフックが突設されている。	持ち手部分の直線状基部の背面には、L型の造形が施されている。持ち手部分の上部外周部分に、貼付状の造形が施されている。	
【ポール】			
1	ポールは、円筒状の棒状体である。	ポール部分の横断面の形状は、不明である。	
2	ポールの下方部には、先端を下方に屈曲させたL型のコードフックが突設されている。		
3	ポールの長さは、全長の約50%である。	ポールの長さは、全長の40%である。	
【連結部】			
1		連結部分は、上端の背面に、先端を下方に屈曲させたL型の造形が施されている。	
2		連結部分の下端は、本体部分上部の前面部分と結合している。	
【本体部】			
1	本体部は、上部のポール接続用の円筒部と、本体とから成る。	本体部分は、連結部分との結合部分から下部にかけて、本体の長手方向の4分の1程度までは円弧状に連続的に膨らみ、4分の1付近からモップヘッドとの結合部分までは円弧状に連続的にしぼむ形状(逆水滴型)である。	
2	本体は、下端部と上端部が小径で、中央部が膨らんだ形状であり、その横断面は略楕円形である。	正面図の最大膨らみ部分は、上部より4分の1程度の部分であり、同部分の横幅は、ポール部分の約7倍である。	
3	最大径部は、本体の下から3分の2付近にある。	正面中央付近の上部に、円形及び楕円形の造形が施されている。	
4		背面の上部から本体の長手方向の4分の1付近の部分は、下方が円弧状のタンクであり、上部に栓状の突起物が存在する。	
【モップヘッド】			
1	モップヘッドの外周形状は、前部及び両側部が緩やかな円弧状であり、後部が、前部よりも小さい曲率半径の円弧状である。		おおむね認める。
2	その縦:横の比率は、約1:2である。		
3	上面中央部の隆起部から、放射状の隆起が端部にまで延びている。	上面中央部に隆起部が存在し、モップヘッド上面に13本の放射状の隆起が施されている。	
4	隆起の総数は、約16本である。		おおむね認める。
5	裏面の中央部には、3×3の井桁状突起が形成され、その両側の前後に、モップ接着用の長方形部が形成されている。		おおむね認める。

【被告製品1の意匠】

原告らの主張		被告の認否及び主張	
基本的構成態様			
	被告製品1の意匠は、ハンドルと、ポールと、本体部と、モップヘッドとから成る。	被告製品1の意匠は、持ち手部分と、ポール部分と、本体部分と、モップヘッド部分とから成る。	
1	ハンドルは、ポールの上端に形成された、半円形のものである。		おおむね認める。
2	ポールは、棒状であり、その下端部は本体部に連結されている。		
3	本体部は、ラッキョウ形であり、その下端部はモップヘッドに連結されている。		おおむね認める。
4	モップヘッドは、上面中央部に、本体部との接続部である隆起部を備え、横長の板状体である。		おおむね認める。
具体的構成態様			
【ハンドル】			
1	ハンドルは、下方の直線状の基部と、その上方のハンドル本体とから成る。		おおむね認める。
2	ハンドル本体は、基部に対して約45度の角度で斜め上方に延びる直線状部と、この直線状部の上方に形成された略半円状の握り部とから成る。		
3	ハンドル本体の裏側位置の直線状基部には、先端を上方に屈曲させたL型のコードフックが突設されている。	持ち手部分の直線状基部の背面には、L型の造形が施されている。持ち手部分の上部外周部分には、均質である。	
4	ハンドルの全体は、薄紫色である。		おおむね認める。
【ポール】			
1	ポールは、横断面が略楕円形の棒状体である。	ポール部分の横断面は、三角形の頂点を円弧状にした形状である。	
2	ポールの長さは、全長の約45%である。	おおむね認める。	
3		ポール部分は、2本の棒が中央部で接続され、上端で持ち手部分と、下端で本体部分とそれぞれ結合している。	
4		ポール部分の下端は、本体部分上部の中央部分と結合している。	
【本体部】			
1	本体部は、上部のポール接続用の円筒部と、本体とから成る。	本体部分は、ポール部分との結合部分から下部にかけて、本体の長手方向の4分の3程度までは円弧状に連続的に膨らみ、4分の3付近からモップヘッドとの結合部分までは円弧状に連続的にしぼむ形状(水滴型)である。	
2	本体は、下端部と上端部が小径で、中央部が膨らんだ形状であり、その横断面は略楕円形である。	最大膨らみ部分は、上部より4分の3程度の部分であり、同部分の横幅は、ポール部分の約8倍である。	
3	最大径部は、本体の上から3分の2付近にある。	正面中央の上部から2分の1付近に、逆三角形のランプが設置されている。	
4	表面中央部には、小型の表示灯が設けられている。	背面の上部にタンクはなく、背面中央の上部から長手方向に7分の3付近に栓が存在する。	
5	本体部の全体は、ポール接続用の円筒部(グレー色)を除き、薄紫色である。	本体部分全体が、薄紫色である。	
6	本体の上端部には、先端を下方に屈曲させたL型のコードフックが突設されている。	背面の上部から長手方向に約7分の1付近には、先端を下方に屈曲させたL型の造形が施されている。	
7			
【モップヘッド】			
1	モップヘッドの外周形状は、前部及び両側部が緩やかな円弧状であり、後部が、前部よりも小さい曲率半径の円弧状である。		おおむね認める。
2	その縦:横の比率は、約1:2である。		
3	上面中央部の隆起部から、放射状の隆起が端部にまで延びている。	上面中央に隆起部が存在する。底面の中央部分の9つの四角形から構成される長方形の突起の前面側に4つ、背面側に1つの板状の突起がある。	
4	隆起の総数は、20本である。		おおむね認める。
5	裏面の中央部には、3×3の井桁状突起が形成され、その両側の前後に、モップ接着用の長方形部が形成されている。		
6	井桁状突起の両側には、外側が広がったハの字状のリップが形成されている。		

【被告製品2の意匠】

原告らの主張		被告の認否及び主張	
基本的構成態様			
	被告製品2の意匠は、ハンドルと、ポールと、本体部と、モップヘッドとから成る。	被告製品2の意匠は、持ち手部分と、ポール部分と、ポール部分と本体部分の接続用の円筒部分(以下「連結部分」という。)と、本体部分と、モップヘッド部分とから成る。	
1	ハンドルは、ポールの上端に形成された、半円形のものである。		おおむね認める。
2	ポールは、棒状であり、その下端部は本体部に連結されている。		
3	本体部は、ラッキョウ形であり、その下端部はモップヘッドに連結されている。		おおむね認める。
4	モップヘッドは、上面中央部に、本体部との接続部である隆起部を備え、横長の板状体である。		おおむね認める。
具体的構成態様			
【ハンドル】			
1	ハンドルは、下方の直線状の基部と、その上方のハンドル本体とから成る。		おおむね認める。
2	ハンドル本体は、基部に対して約45度の角度で斜め上方に延びる直線状部と、この直線状部の上方に形成された略半円状の握り部とから成る。		
3	ハンドル本体の裏側位置の直線状基部には、先端を上方に屈曲させたL型のコードフックが突設されている。	持ち手部分の直線状基部の背面には、可動のL型の造形が施されている。	
4	ハンドルの全体は、薄紫色である。	持ち手部分は、おおむね薄紫色であるが、持ち手部分の上部外周部分に、灰色のゴム製の滑り止めが施されている。	
【ポール】			
1	ポールは、横断面が略楕円形の棒状体である。	ポール部分は、2本の棒が中央部で接続され、上端で持ち手部分と、下端で連結部分とそれぞれ結合している。ポール部分の横断面は、三角形の頂点を円弧状にした形状である。	
2	ポールの下方部には、先端を下方に屈曲させたL型のコードフックが突設されている。	上部の棒の最下部及び下部の棒の最上部には、配線を整理する留め具が施されている。	
3	ポールの長さは、全長の約50%である。	ポール部分の長さは、全長の約40%である。	
【連結部分】			
1		連結部分は、上端の背面に、先端を下方に屈曲させたL型の造形が施されている。	
2		連結部分の下端は、本体部分上部の中央部分と結合している。	
【本体部】			
1	本体部は、上部のポール接続用の円筒部と、本体とから成る。	本体部分は、上部のポール接続用の円筒部と、本体とから成る。	
2	本体は、下端部と上端部が小径で、中央部が膨らんだ形状であり、その横断面は略楕円形である。	連結部分との結合部分から下部にかけて、本体の長手方向の5分の1程度までは円弧状に連続的に膨らみ、2分の1付近からモップヘッド部分との結合部分までは円弧状に連続的にしぼむ形状(瓜型)である。	
3	最大径部は、本体部の下から2分の1付近にある。	最大膨らみ部分は、上部より2分の1程度の部分であり、同部分の横幅は、ポール部分の約7倍である。	
4	本体の表面中央部には、小型の表示灯と、横長楕円形のホーム表示部とが設けられている。	正面中央の上部から7分の2付近に、逆三角形のランプが設置されており、上部から7分の3付近に、横長の楕円形が名称の造形が施されている。	
5	本体部の全体は、ポール接続用の円筒部(グレー色)を除き、薄紫色である。	タンク及び電源のスイッチを除き、薄紫色である。	
6	本体の上部は、段差を付けて円錐台状に設けられ、円錐台状部の表面に電源スイッチが設けられている。	正面中央の上部から5分の1付近に、電源のスイッチが施されている。	
7	本体部の背面には、透明プラスチック製になっており、その上部に給水口が突設されている。	背面中央の上部から長手方向に5分の1付近ないし2分の1付近は、縦長楕円形のタンクであり、上部に栓が存在する。	
【モップヘッド】			
1	モップヘッドの外周形状は、前部及び両側部が緩やかな円弧状であり、後部が前部よりも小さい曲率半径の円弧状である。		おおむね認める。
2	その縦:横の比率は、約1:2である。		
3	上面中央部の隆起部から、放射状の隆起が端部にまで延びている。	上面中央に隆起部が存在する。底面の中央部分の9つの四角形から構成される長方形の突起の前面側に4つ、背面側に1つの板状の突起がある。	
4	隆起の総数は、20本である。		おおむね認める。
5	裏面の中央部には、3×3の井桁状突起が形成され、その両側の前後に、モップ接着用の長方形部が形成されている。		
6	井桁状突起の両側には、外側が広がったハの字状のリップが形成されている。		